

平成 28 年度 第 2 回 鴨川市水道事業運営委員会 会議録

日 時：平成 28 年 11 月 4 日（金）午後 1 時 30 分から午後 2 時 20 分

場 所：鴨川市水道局 1 階会議室

出席者：久保忠一、刈込信道

川名義夫、川上正利、梶 恵子、村尾信行、中村康仁

（欠席委員）：平松健治、山崎美保子、満田秀夫

事務局：市長 長谷川孝夫

水道局長 岩瀬英彦、次長 角田敬夫

業務係長 佐久間泰弘、工務係長 鈴木武志

業務係 主査 山田英則、主査 吉田泰行

傍聴者：なし

1 開 会

（事務局）

皆さん、こんにちは。御案内の時間となりましたので、ただ今から平成 28 年度第 2 回鴨川市水道事業運営委員会を開催させていただきます。

本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。私は、本日の進行を務めさせていただきます、鴨川市水道局の角田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

最初に配布資料の確認をさせていただきます。事前に配布させていただきました、会議次第、委員名簿、鴨川市水道事業運営委員会設置条例、議案「平成 28 年度鴨川市水道事業会計補正予算（第 1 号）」及び議案説明資料「平成 28 年度鴨川市水道事業会計補正予算（第 1 号）」、資料といたしまして「平成 28 年度鴨川市水道事業上半期業務状況報告書」、以上でございます。

資料の配布漏れ等ございませんでしょうか。

次に、本日の会議の取扱いについて御説明をさせていただきます。本日の会議は、「鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領」等により会議を公開することといたします。

また、議事録を作成し、公開するため録音させていただきます。

本日、平松委員さん、満田委員さん、山崎委員さんより欠席の連絡が入っております。本日の出席委員は 7 名でございますので、鴨川市水道事業運営委員会設置条例第 5 条第 2 項の規定により、過半数を超えておりますので本委員会は成立いたしますことを御報告させていただきます。

2 市長あいさつ

(市長あいさつ)

はい。改めまして、こんにちは。

皆様方におかれましては、大変お忙しい中、こうしてお集まりをいただきましてありがとうございます。少し最近の鴨川市の様子について、冒頭述べさせていただきたいと存じます。

会議が始まる前に、川名委員さんとも、少しお話に出ておりましたが、今、ロッテマリーナズ、この1日から22日まで22日間の日程で、キャンプに来ていただいております。昨日は大変良い天候にも恵まれまして、2,000人近くの人達が入ってくれたと、このような情報もありまして、大変嬉しく思っているところでございます。

また、今まで宿泊あるいは食事等は、1つの会社で、ということでもあったのですが、分宿と言いましょうか、色々な会社さんをお願いしながらということで、多くの鴨川市民、市内外、潤っていただければ良いな、このような思いもしているところでございます。

それから、先週の日曜日に食フェスタが開催されまして、約7,000人の御客様がお入りになられました。私も3時間、4時間余り中で過ごさせていただきました。大変美味しい、まさに、やっぱり鴨川っていうと食事に関しては海の物、山の幸、お米等々言われるところですが、何と言ってもやっぱりお魚だろうな、この新鮮なお魚を求めて来てくださった方もいらっしゃいました。その前には、読売旅行会社からのお客さんも多くいらっしゃっていただきまして、大変な賑わいがあったところでございます。

実は私、昨日の文化の日に、身延祭りがございまして、日蓮上人さん所縁の地、この御縁でもって、身延町と鴨川市、姉妹都市を結んでいるところでございまして、お伺いさせていただきました。大変素晴らしいお祭りで多くの人が賑わっております。

私も10分ほど時間をいただきまして、特別にお話をさせていただきました。多くの皆さんがいる前でということで、鴨川の宣伝をさせていただいたところでございます。私どもからも海産物、加工品でございましたけれども、色々な開きだとか、ひじきを持って行きまして、飛ぶように売れた。私も真似ごとではあります、一緒になって売らせていただいたところでございます。

商売の難しさと言いましょうか、お客さん相手というのは、なかなか難しいな、このような思いも実感させていただいたところでございます。

そして、私はやっぱり多くの人達が、この鴨川に集まってくれる。人が集まれ

ば、そこに仕事生まれ、また経済効果も波及する。こういう面で、今スポーツ関係のことについて、ロッテマリーンズの話をしていただきましたが、折角こうした素晴らしい野球場や、陸上競技場があるわけですので、ひとつの産業として、スポーツ産業として、生きていくひとつの道もあるのかなと、もちろん市民がしっかり使うことが出来る、これは当然のこととして、市内外から多くの御客様にスポーツ施設を使うことによって来てくれる。これも「まちワイ」創出のひとつであろう、このように考えているところでありまして、また色々皆様方からも御意見等々いただければ、大変ありがたいな、このように思っております。

それから、今、色々な総合計画がこの4月からスタートしたところでございまして、その中に「新たな海辺のまちづくり」、これをひとつのプロジェクトに入れさせていただきました。その他にも CCRC だとか色々あるわけですが、皆様方に直接目に見えるものとしては、「海辺のまちづくり」ということで、東条海岸、前原海岸、横渚海岸、それからフィッシャリーナまでの、この海岸線を新たな魅力ある街づくりに創出していくことが出来れば良いな、そしてそれと合わせまして新町通りだとか、その街づくりも合わせて新たな創出を図っていくことが出来れば良いなということで、今、地方創生事業の一環として、国から交付金、補助金をいただきながら、今その計画の立案をしているところでございまして、これらにつきましても、皆様方からの色々な御意見が頂戴できればありがたいな、このような取り組みをしているところでございまして、冒頭に少しお話をさせていただきました。

それでは、本会議にあたりましての御挨拶を申し上げさせていただきます。水道事業に関しまして、本当に皆様方には色々な面で御理解と御力添えを賜っておりますことを、改めて御礼を申し上げる次第でございます。

本年度の上半期におきましては、前年度と比べまして給水件数、これは100件の増加となったところでございますが、しかしながら有収水量では、各月とも前年度を下回る結果となってしまいました。上半期の合計では前年度比の2.7パーセントの減少となったところでございます。

これに伴いまして、水道料金も前年度と比べまして2.5パーセントの減少でございました。金額にして税抜きで15,169,743円の減少と相成ったところでございます。

下半期の状況も大変厳しいものと見込まれるわけですので、中期的需要動向等を踏まえました財政運営が更に必要であると、このように思っております。今後とも委員皆様方の温かい御支援と御力添え、お考え等

をお聞かせ賜りますよう、お願いを申し上げる次第でございます。

さて、本日の議案でございますが、御案内のとおりでございます。「平成 28 年度鴨川市水道事業会計補正予算（第 1 号）」について、でございます。

来る 12 月の定例市議会におきまして、御審議をいただく予定としておりますが、これに先立ちまして、運営委員会委員の皆様方に御説明させていただき、あらかじめ御承認を賜りたいと存じる次第でございます。

「平成 28 年度鴨川市水道事業会計補正予算（第 1 号）」の概要でございますが、千葉県市町村水道総合対策事業補助金、いわゆる、高料金対策補助金でございますけれども、本年度の県費補助金算定の数値が明らかとなりました。このことから、この算定に基づきまして、一般会計からの補助金であります、他会計補助金 23,709,000 円の減額と県補助金 25,989,000 円の減額、合わせまして 49,698,000 円の減額補正をさせていただくものでございます。

そして、次年度の業務に関わる契約事務の遂行のため、債務負担行為の設定をさせていただくものでございます。

また、その他事項といたしまして、今年度上半期業務状況についての報告をさせていただきたいと存じております。

今後も、給水人口の減少、それから、いつも申し上げているところでございますが使用水量の減少など、経営環境、これは一段と厳しさを増してくるものと、このように予想されるところでございます。しかしながら一層の安定給水に向けまして、施設の維持管理、そして非常時等に対応出来る供給体制の整備などにしっかりと取り組んで参りたいと存じておりますので、委員の皆様方には、引き続き御理解と御指導を賜りますよう、お願いを申し上げる次第でございます。

以上、概要につきまして申し述べさせていただきました。詳細につきましては、この後、水道局長から説明をいたさせますので、よろしく御審議のほどお願い申し上げます。私からの近々における鴨川市の状況と水道関係につきましてお話をさせていただいて、挨拶とさせていただきます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

3 議事

（久保会長）

本日の会議録の確認をしていただく委員さんにつきましては、梶委員さんと村尾委員さんを指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

早速議事を進めさせていただきます。

議案「平成 28 年度鴨川市水道事業会計補正予算（第 1 号）」について、事務局より

説明をお願いいたします。

(事務局)

それでは、議案「平成 28 年度鴨川市水道事業会計補正予算（第 1 号）」につきまして、説明を申し上げます。恐れ入りますけれども、資料の議案を見ていただきたいと思います。

初めに、第 2 条の収益的収入及び支出の予定額でございますが、1 款の事業収益を 4,969 万 8,000 円減額いたしまして、17 億 6,349 万 7,000 円といたしたいものでございます。

内訳でございますが、2 項の営業外収益は、他会計補助金を 2,370 万 9,000 円、県補助金を 2,598 万 9,000 円、それぞれ減額いたしまして、補正後の予定額を 5 億 535 万 4,000 円といたしたいものでございます。

これにつきましては、先ほど市長の挨拶の中でもございましたとおり、千葉県市町村水道総合対策事業補助金の本年度の算定数値が明らかとなったことから、これに基づきまして算定した結果、減額をさせていただくものでございます。

続きまして、第 3 条は他会計からの補助金の額でございますが、2,370 万 9,000 円を減額いたしまして、1 億 7,717 万 4,000 円に改めたいものでございます。

次に第 4 条でございますが、債務負担行為について定めるものでございます。業務の性質上、いずれも年度当初から契約を締結しなければならないものでございまして、発生する業務に支障をきたさないよう、債務負担を設定させていただくものでございます。

内容といたしましては、量水器検針等業務に係る委託料 9,910 万円、浄水場維持管理業務委託料 29 万 7,000 円、電気・通信等施設設備及び事務機器等の保守に係る委託料 443 万 2,000 円、水質検査業務に係る委託料 1,568 万 3,000 円、土砂処理業務に係る委託料 3,272 万 4,000 円、次のページに移りまして、及び、薬品等に係る購入費 5,554 万 9,000 円につきまして、それぞれ限度額を定めたいものでございます。

次に予算に関する説明書の 1 ページ、こちらは実施計画でございますので、後ほど御覧いただきたいと思います。と存じます。

続きまして、2 ページは平成 28 年度鴨川市水道事業会計補正（第 1 号）予定キャッシュ・フロー計算書でございます。これまでの業務活動、投資活動、そして財務活動に今回の補正予定額を加えまして、資金の増加額は 1 億 8,872 万 9,000 円となりますので資金の期末残高は 8 億 5,539 万 5,000 円となる予定でございます。

以上、簡単ではございますが説明とさせていただきます。よろしく申し上げます
(久保会長)

それでは、説明が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。

質疑、ございませんでしょうか。

(「ありません」の声あり)

(久保会長)

はい。なければ、よろしいでしょうか。

質問がないということですので、ただ今の件については、承認ということで御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

(久保会長)

御異議なしと認め、原案のとおり答申することに決定いたしました。

以上で本日の議件を終了させていただき、議長の職を解かせていただきます。議事進行に御協力いただきましてありがとうございました。

4 その他

(事務局)

それでは、その他ということで、資料の最後の方についていると思いますが、上半期の業務状況報告について報告をさせていただきます。

まず、1の工事関係でございますけれども、主要な工事といたしまして、配水管布設工事等では、大橋添架配水管布設替工事、大山千枚田公衆トイレ新設工事に伴う配水管布設工事。

更新その他としましては、横渚浄水場無停電電源装置修繕工事、保台ダム地震観測装置外更新工事、保台浄水場ろ過池洗浄装置修繕工事、宮山第1ポンプ所改良工事、嶺岡配水池計器盤更新工事、御園ポンプ所・大山第2ポンプ所残留塩素計設置工事等を実施したところでございます。

4ページには、主要工事等一覧としてまとめてありますので、後ほどご覧いただきたいと存じます。

次に2業務関係でございますが、業務関係では給水件数でございますけれども、資料の6ページをご覧いただきたいと思います。6ページ上段の左側、上半期の契約数は前年度より100件多い18,214件となったところです。

次に有収水量でございますが、5ページ下の段の表をご覧いただきたいと思います。表の真ん中に有収水量がございます。右側には有収率が記載されております。今年度は、年度当初から前年度を下回る状況となっております。有収率は79.0パーセント、そして有収水量は先ほど御説明したとおりの状況から、今年度は上半期合計2,213,862立方メートルとなり、昨年度より61,841立方メートル、2.7パーセントの減でございます。

これは、月平均では 10,000 立方メートルの減少という状況でございます。下半期も上半期と同様の状況であると見込まれるところでございます。

次に 2 ページ、3 経理関係でございますが、先ほどの有収水量の減少ですが、これは当然そのまま水道料金の減収に直結をしております。6 ページ上段の表になりますが、水道料金の欄をご覧ください。上半期の合計では、15,000,000 円の減収となっております。これらの原因でございますが、人口の減少、節水機器の普及、更には管末における残留塩素の確保における捨て水水量の増加、特に 8 月は夏季の観光入り込み客が減少した影響もあり、前年同月比 5.3 パーセント落ち込みました。

新聞報道によりますと、7 月 1 日から 8 月 31 日の市内主要観光施設の入り込みは、8 パーセントの減少という報道もございました。その中のコメントでは、8 月の減少は、日差しは強かったものの、気温 35 度以上の猛暑日は 1 日もなく、中旬以降に相次いで接近した台風 7・9・10 号による外出の控え、加えてオリンピックが 8 月 3 日から 21 日までリオで行われましたけれども、オリンピック開催期間中は入り込み客が減少すると言われていたといったコメントもございました。

最後になりますけれども、5 ページ上段の表を御覧ください。収益と費用の動向ですが、収益は料金収入の減少により 1.4 パーセントの減少となりました。しかし費用においては、企業債支払利息は毎年減少傾向にあり 2.7 パーセントの減となり、差引損益では 0.1 パーセント、229,831 円とほぼ横ばいの状況でございます。

以上、簡単ですけれども上半期の状況について報告をさせていただきます。

5 閉 会

(事務局)

以上をもちまして、平成 28 年度第 2 回水道事業運営委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。

平成 28 年 12 月 12 日

会議録署名人 村尾 信行

会議録署名人 梶 恵子